

下北沢の都市計画を決定

住民ら 見直し求める

谷審
田計
世都

東京・世田谷区都市計

画審議会（東郷尚武会

長）は十八日、小田急線

下北沢駅の駅前商店街に

最大幅二十六メートルの都市計

画道路（補助54号線）を

通し、高層ビルを誘導す

る再開発計画「下北沢駅

周辺地区計画」案を、賛

成九、反対五の賛成多数

で決定しました。

同地域は、路地の両側

に小さな商店や小劇場

が並び、若者に人気があ

ります。地元の商店主や

住民、若者からは「再開

発で、下北沢の路地文化

が壊される」と、反対運

動が広がり、市民団体が

代替案を示していまし

た。

中里光夫委員（日本共

産党区議）は、「大きな道

路や高いビルはいらな

い」という多くの住民の

声を排除し、強引に地区

計画を推進してきた区を

批判。「住民の代替案を

取り入れた計画に見直す

べきだ」として、計画案

に反対しました。「住民

合意ができていない」と

反対した学識経験者もい

ました。

審議会では、都市計画

法で義務付けられている

地区計画案への住民の意

見書募集で、区が賛成意

見へ誘導する行為をした

ことが問題となり、採決

の中止を求める意見が相

次ぎました。中里区議は

「不正な手続きに基づく

採決は、審議会に汚点を

残す」とのべました。

東郷会長は「手続きの

問題も含めて判断してほ

しい」として採決を強

行。しかし、採決後、区

の行為について「公務員

として公平・公正、中立

性が適正であったとは思

えない」と、今後の是正

を求めました。

審議会を傍聴した地元

住民や若者らでつくる

「セイブ・ザ・下北沢」

の金子賢三代表は、「計

画が決定されたのは残念

ですが、道路工事が始ま

るまで本当の住民参加に

よるまちづくりに変える

ために、これからも運動

を進めていきます」と話

しました。